

社協 なると

社会福祉協議会広報誌 第7号

発行/社会福祉法人 鳴門市社会福祉協議会
〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜30番地の9
老人福祉センター2F
TEL:088-685-7170 FAX:088-686-4059



鳴門市基幹型地域包括支援センター開所式
(H27.9.8)



自立支援ケア会議開催に向けての説明会
(H27.9.28)



赤い羽根共同募金・街頭募金
(H27.10.1~10.3)



第37回鳴門市うずしお運動会
(H27.10.16)

主 な 内 容

- ▶ 鳴門市基幹型地域包括支援センターについて ②
- ▶ 「自立支援ケア会議」開催に向けての説明会実施 ⑤
- ▶ 第6回赤い羽根全国ミーティング参加報告 ⑤
- ▶ 第37回鳴門市うずしお運動会開催 ⑤
- ▶ 地区社会福祉協議会活動紹介 ⑥
鳴門東地区社会福祉協議会、大麻地区社会福祉協議会
- ▶ 赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金、善意銀行について ⑦
- ▶ 社会福祉協議会からのお知らせ ⑧

地域包括ケアシステムの構築について

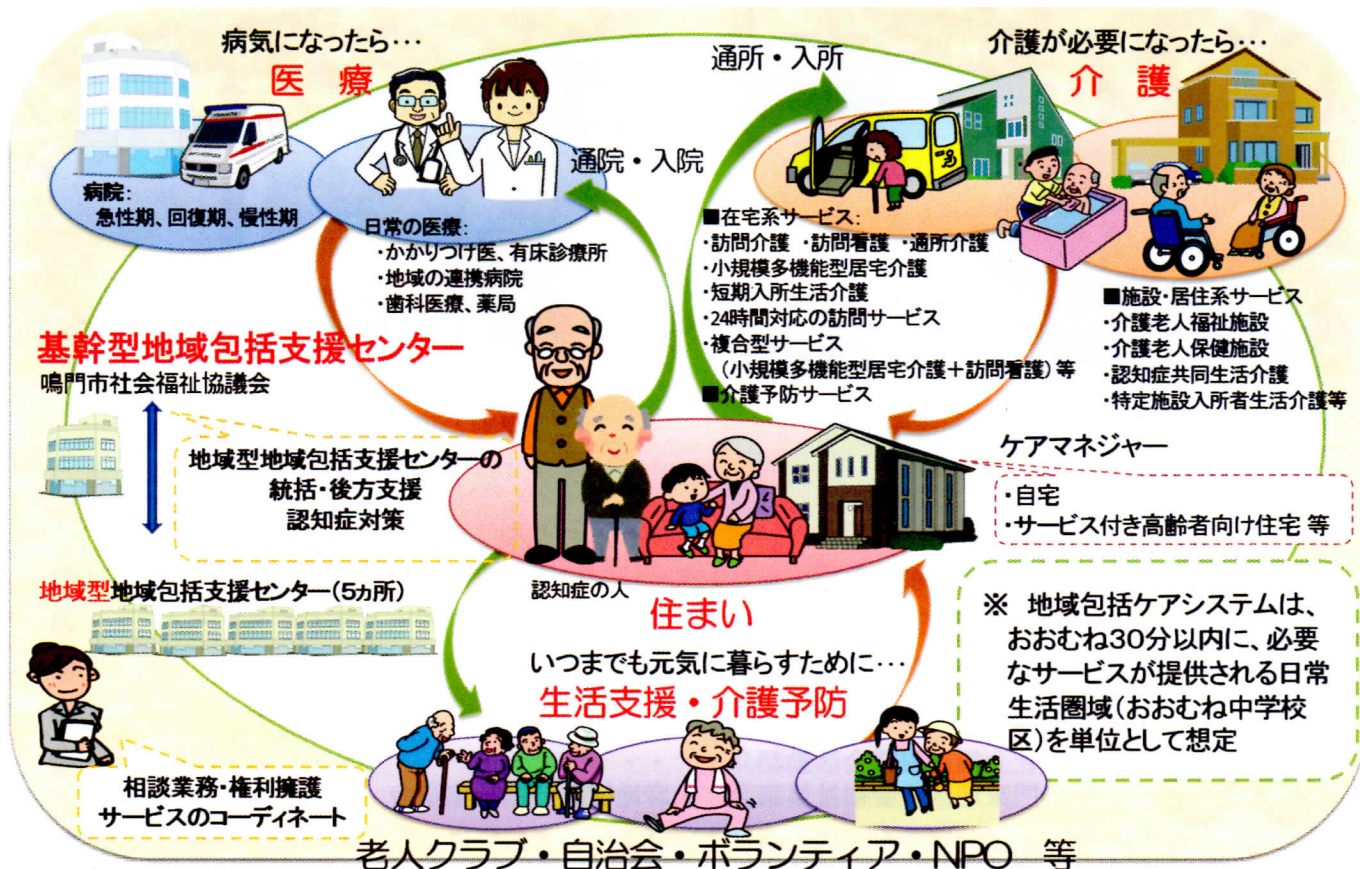
○団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制(地域包括ケアシステム)の構築が必要**

→ **地域包括支援センターが拠点**

○今後、**認知症高齢者の増加が見込まれる**ことから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、見守り体制を含む地域包括ケアシステムの構築が重要

→ **地域包括支援センターのコーディネートによるネットワークづくり**

地域包括ケアシステムの姿



鳴門市基幹型地域包括支援センターの開設

この度、鳴門市から委託を受けて、県内初となる“基幹型”の地域包括支援センターを9月8日、鳴門市社会福祉協議会に開設しました。

市は平成18年度に市内5カ所(おおむね中学校圏域)に地域包括支援センターを開設置し、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士等のアプローチにより、高齢者の総合相談や権利擁護業務、介護予防マネジメントなどの活動を行ってきました。

しかしながら、高齢化の進展に伴い相談件数は増加し、老老介護支援や高齢者虐待防止や、成年後見制度利用支援といった個別事例の複雑化も進んでいるほか、認知症対策強化の必要性等、地域包括ケアシステム構築の拠点としての役割を担う地域包括支援センターの役割や機能を更に強化する必要が生じてきました。

そのため、既存の地域包括支援センターを支援し、連携・統括するとともに、こうした各種の課題への対応を推進する機関として、これまでの社会福祉活動において、ボランティア団体や住民組織とのネットワークを有する市社会福祉協議会が受託し設置に至りました。

鳴門市基幹型地域包括支援センターの主な業務

①地域包括支援センターでの対応が困難な事例への対応

虐待事例やゴミ屋敷など処遇困難事例については既存の地域包括支援センターと連携しながら支援を行っていきます。

②地域包括支援センターとの連携・機能強化(調整・後方支援)

地域包括支援センター連絡会、小地域ケア会議の開催支援・介護支援専門員のスキルアップ研修の実施等を行います。

③「自立支援ケア会議」の開催

歯科医師・理学療法士・管理栄養士等のアドバイザーに、各地域包括支援センターや市を加えた連携により、在宅介護サービスの個々の事例を一件ずつ検証し、改善の方向性・方法などについて意見や提案を行い、自立支援に向けた介護サービスの提供を促進するもので県内初の試みとなります。自立支援・生活機能向上の視点の定着を図り、介護サービスの効果と在宅限界点の向上に繋がる取り組みと考えています。

④認知症対策の推進

認知症の早期発見・早期対応のための体制整備として、「認知症初期集中支援チーム」を新たに設置します。(詳細は次頁へ)

また、地域の方々への認知症理解に向けた啓発や、見守り体制づくり、徘徊SOSネットワーク会議の設置についても取り組んでいきます。

⑤「生活支援体制整備事業」の推進

生活支援コーディネーターを配置し、在宅生活の限界点を高める掃除・買い物・調理などの生活支援や支えあい活動などの取り組みの他、来年度から鳴門市が移行予定の「介護予防日常生活支援総合事業」でのサービス創造にも繋げていく各種事業を実施する予定です。

認知症初期集中支援チームの設置

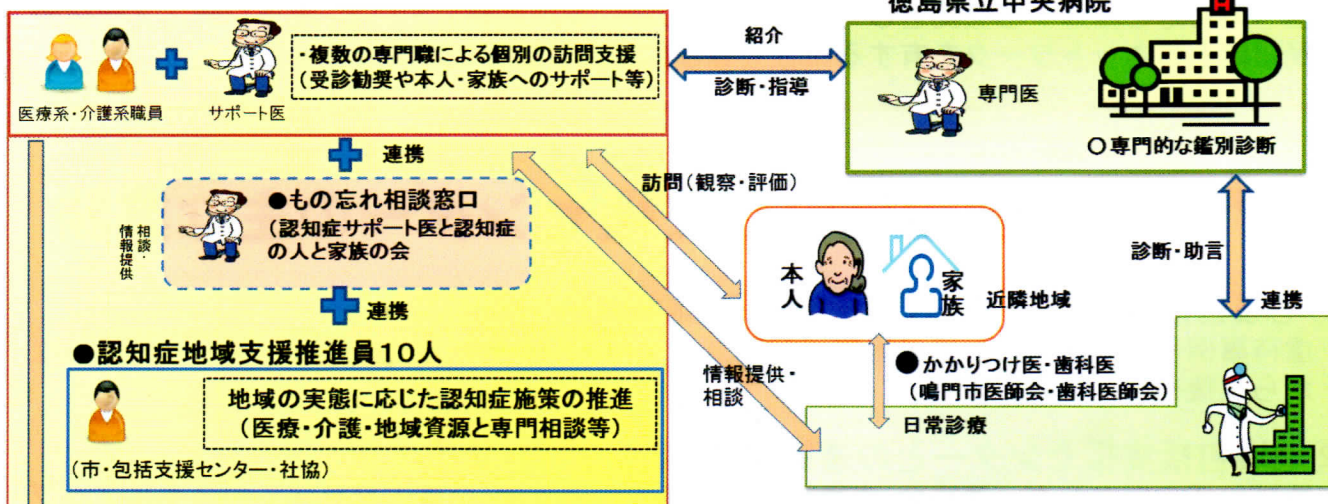
今後、ますます増える見込みの認知症対策として、保健師や看護師などの医療系の専門職や、介護支援専門員・社会福祉士などの介護・福祉系の専門職と認知症サポート医がチームとなり、日常生活や地域において、問題が発生してからの対応ではなく、認知症が疑われたり、発症初期の段階からの早期発見・早期対応のための体制整備として、「認知症初期集中支援チーム」の設置が、市町村に義務づけられました。

鳴門市では9月8日に開設した基幹型地域包括支援センターの3職種（保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士）が、厚労省のチーム員養成研修を修了し、本年中に活動を開始する予定で、県内では先駆けての取り組みとなります。当センターの3職種の職員は「認知症地域支援推進員」も兼務しており、認知症の本人や介護者を地域で支える仕組みづくりの構築にも取り組んでいきます。



鳴門市基幹型地域包括支援センターに設置

●認知症初期集中支援チーム



《認知症初期集中支援チームの主な業務の流れ》

- ①訪問支援対象者の把握、②情報収集（本人の生活情報や家族の状況など）、
- ③観察・評価（認知機能、生活機能、行動・心理症状、介護負担度、身体の様子チェック）、
- ④初回訪問時の支援（認知症への理解、専門的医療機関等の利用の説明、介護保険サービス利用の説明、本人・家族への心理的サポート）、⑤初期集中支援チーム員会議の開催（支援の方針・内容・頻度等の検討）、
- ⑥初期集中支援の実施（専門的な医療機関等への受診勧奨、本人への助言、身体を整えるケア、生活環境の改善など）、⑦引き継ぎ後のモニタリング



認知症
ともに暮らそう
この街で



「自立支援ケア会議」 開催に向けての説明会実施

平成27年9月28日（月）に、介護サービス利用者の自立支援を目指した「自立支援ケア会議開催に向けての説明会」を実施しました。
対象者は、ケアマネージャーやデイサービス・ヘルパー事業所の管理者や職員などで、約100名が参加しました。

はじめに、埼玉県和光市 保健福祉部長 東内京一氏（元厚生労働省老健局 総務課課長補佐）を講師にお招きし、介護状態になることを予防することや、サービスを利用することになっても、以前の生活を取り戻す（介護保険からの卒業）という考え方を講演いただきました。
続いて、鳴門市基幹型地域包括支援センターより、会議の流れについて説明しました。

この会議は地域包括ケアシステムの構築を目指し、平成27年度中はモデル的に開催します。平成28年度からは月2回開催し、状態の改善や日常生活の変化などを検証していきます。

地域包括ケアシステムの捉え方



第6回赤い羽根 全国ミーティング参加報告

会議は7月13・14日に開催され、徳島県からは鳴門市社協・海陽町社協・県共募事務局が参加しました。



会場は東京都の全社協（灘尾ホール）で、全国各地で「赤い羽根共同募金」の推進に先進的に取り組んでいる仲間や、NPOやファンドレイジングの代表、大学教授などの研究者、関係機関のリーダーなど300名余が参加し講演や先進事例発表などが盛大に開催されました。

近年の「赤い羽根共同募金」を取り巻く状況は厳しく、募金額はここ20年くらい減少し続けていますが、この募金は多くが地域に還元され「じぶんの町を良くするしくみ」として活用されることから、継続・拡充させることが地域福祉活動のために何より重要です。

国民の7割が社会貢献意識を持つなか、年間個人寄付額は6931億円（平成24年）で、「赤い羽根共同募金」は117億円と寄付額では13番目（一位は宗教関係、以下緊急災害援助、国際協力、教育・研究、ふるさと納税、政治献金など）となっていますが、募金の認知度は高く地域貢献度も高い制度で、その一層の発展のためには、寄付者への丁寧な説明と募金活用内容に理解を得ることや、新しい募金のあり方なども検討も必要です。
幸い鳴門市は県内ではトップの共同募金達成率

を誇っており、皆様の日頃のご協力の賜物と厚く感謝申し上げますとともに、今後の活動推進にも引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

第37回鳴門市うずしお運動会開催

平成27年10月16日（金）、「創造と連帯の輪を広げて」をスローガンに、第37回鳴門市うずしお運動会が開催され、鳴門市内から60歳以上の方が約800名参加されました。

市老連小林会長の開会の挨拶に続き、泉鳴門市長（谷副市長代読）、藤田市議会議長からご挨拶がありました。

昨年度優勝の里浦チームから優勝カップの返還・選手宣誓が行われた後、競技が開始されました。紅白玉入れや、ホールインワン競争、二人は若い、交通安全など9種目にわたる競技が行われました。お昼に行われたレクリエーションの踊りでは、たくさんの方にご参加いただき、和やかな雰囲気になりました。最後まで白熱した競技が展開され、盛況のうちを終了しました。

優勝は川東チーム、準優勝は鳴門チーム、三位は里浦チームでした。



鳴門東地区社協活動紹介

鳴門東地区社会福祉協議会会長 小川 清吉

鳴門東地区は「国立鳴門公園」を有し、最近『鳴門海峡の渦潮を世界遺産に』活動や「大塚国際美術館」人気などにより、国内外からの観光客が多数訪れる国際的な観光地となっていますが、一方「鳴門わかめ」「鳴門金時」「大毛島らっきょう」「大根」などのブランド農水産物の産地としても有名な地区でもあります。

地区は南北に長く、古くからそれぞれ特色を持った4つの集落に分かれているため、地区全体がどうしたら一体感を持って共生できるかの話し合いで生まれたのが、社協・自治振興会・民生委員・自主防災会・女性連絡協議会・人権推進協議会・老人会・不法投棄監視パトロール隊・その他各種団体関係者等が一堂に会し13年前から毎年開催している『コミセン祭』です。

祭りでは、会場内では舞台上でカラオケ・日本舞踊。各種演奏・児童クラブの踊りなどで各種愛好会が日頃の成果を披露し、場外ではたこ焼き・焼きそば等の屋台の出店、バザールや神輿を組み立て、子どもたちが面白そうに太鼓を叩いたりしますが、最後に行く“くじ引き”は特に人気があります。何より嬉しいのは、普段顔を合わせたり会話をしたりする機会もない方々が、お互い楽しそうに話をしてひと時を過ごしてくれることです。

その他にも、民生委員・女性連絡協議会を中心とした独居老人宅への訪問やお弁当のお届け、自主防災会を加えた災害時の避難訓練や炊き出し等も実施しており、これからも地区の全員が協力・協調し合い、生きがいのある毎日を送っていただける地域づくりのため歩んで参りたいと思っています。



大麻地区社協活動紹介

大麻地区社会福祉協議会会長 近藤 龍彦

鳴門市西端部に位置した大麻町は、鳴門市に昭和42年に編入合併する前には、旧堀江町と板東町が昭和34年に合併して大麻町としての行政下にありました。この当時から国と県の指導によって社会福祉協議会が設置されました。

大麻町には、大きな神社・仏閣があり、日頃から大勢の方がお参りに来られる等、人の訪れる町でもあります。

また、福祉の町として、「草の実学園」・「板東の丘」・「しあわせの里」・「アンドーラかのん」と老人福祉施設「おおあさ苑」があります。

福祉の町として、大麻地区社会福祉協議会では、次の事業を行っています。

- ・草の実まつりにボランティア参加
- ・ひとりぐらし高齢者の方に年2回給食配布
- ・献血の呼びかけ
- ・数え80歳の方に記念品配布
- ・長期入院の方へお見舞い訪問
- ・大麻社協だよりを年一回発行
- ・各施設で行っている事業、おやつ作り、じゃがいも植えと掘り、すずむしの家作りと出荷等のお手伝い
- ・交流ウォークの実施：施設利用者と地域住民との交流、利用者や地域住民が手をつなぎ、松茂の月見ヶ丘海浜公園をウォーキングし、その後ゲーム等をして楽しい一日を過ごします。

今後も町内の皆様のご協力を頂きながら、大麻地区社会福祉協議会は福祉の町として活動を進めて参りたいと思っています。





赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 に皆様のご協力をお願いいたします

共同募金運動は昭和22年に始まって以来、今回で69回目を迎えております。皆様の温かいご支援・ご協力により、今年も10月1日から「地域から孤立をなくそう～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～」の全国統一スローガンを掲げて運動を展開しておりますので、皆様方のなお一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。皆様からお寄せいただいた寄付金は、徳島県共同募金会を通じて、徳島県内の民間福祉施設や社会福祉協議会に配分され、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄り、障がいのある人や子供たちが安心して生活できるように、地域の様々な福祉活動に役立てられます。この趣旨をご理解いただき、地域の皆様の共同募金への温かいご支援とご協力をお願いいたします。

共同募金は計画募金

共同募金は、運動の前に県内の社会福祉施設や社会福祉・ボランティア団体等からの助成要望を取りまとめ、使いみちの計画（配分計画）を立ててから募金を行う「計画募金」です。この配分計画をもとにした募金目標に向けて運動が行われます。

鳴門市支部の募金運動計画

- ◇ 地域募金 …… ボランティアの皆さんが、町内会を通じて各世帯に呼びかけます。
- ◇ 街頭募金 …… 街角や人の集まる場所（店舗前など）で募金を呼びかけます。
- ◇ バッジ募金 …… 関係団体や官公庁、福祉施設等の職員に呼びかけます。
- ◇ 法人募金 …… ボランティアの皆さんが、企業を訪問して寄付を依頼します。
- ◇ 歳末たすけあい募金 …… 関係団体を中心に呼びかけます。

※歳末たすけあい運動は共同募金運動の一環で、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を展開するものです。

街頭募金のご報告

10/1～10/3にキョーエイ鳴門駅前店様、マルナカパワーシティ鳴門店様、ハローズ鳴門店様のご協力により、店頭で街頭募金運動を実施させていただきました。3日間の合計は、101,564円でした。ご協力いただいた多くの皆様方にお礼申し上げます。期間中、支部長の泉鳴門市長をはじめ、鳴門市議会議員の皆様、第一中学校様、第二中学校様、鳴門中学校様、鳴門高等学校様、鳴門渦潮高等学校様など、多くのボランティアの方々にご協力いただきました。

キョーエイ鳴門駅前店様

29,569円

(2日、3日に実施)

マルナカパワーシティ鳴門店様

55,902円

(1日、2日、3日に実施)

ハローズ鳴門店様

16,093円

(1日に実施)

善意銀行にご協力をお願いします

皆さまの温かい善意が、福祉のまちづくりに活かされています。

善意銀行とは、市民の皆様“善意の金銭や物品”を預託（寄付）していただき、それらを必要とする方や施設・団体などに払出し（活用）させていただき、みんなが幸せになれる福祉のまちづくりを推進するための銀行です。地域の団体のおまつりやバザーでの収益金の一部、冠婚葬祭でのお祝いやお悔やみの一部と様々な形でご寄付いただいております。事前にボランティアセンターにご相談ください。

今後も皆さまの善意を地域福祉の推進に活かしていくため、ご協力をお願いいたします。

鳴門市心配ごと相談所

- 日 時:毎週金曜日 10時~15時
- 場 所:鳴門市老人福祉センター1階 相談室
- 相談員:福居 士郎、松本 久和子、永井 多美子、吉成 眞佐人、鍋島 明子、淀 吉弘
- 財産・家族・離婚問題など、あらゆる心配ごと・悩みごとの相談に応じています。費用は無料です。お電話でのご相談も受け付けておりますので、ご利用下さい。

★秘密は厳守します！

※お問い合わせは、
鳴門市社会福祉協議会 (☎ 685-7170) まで。

無 料 法 律 相 談

- 日 時:毎月第2水曜日 13時~15時
- 場 所:鳴門市老人福祉センター1階 相談室
- 弁護士:うずしお法律事務所 瀧 誠司 弁護士
- 対象者:鳴門市心配ごと相談所に来所された方で、法律相談を希望された方。(予約制)

★秘密は厳守します！

※お問い合わせは、
鳴門市社会福祉協議会 (☎ 685-7170) まで。

善意銀行にご協力をお願いします

皆様の温かい善意が、福祉のまちづくりに活かされています。

平成27年6月1日から平成27年9月30日までに、次の方よりご寄付いただきました。

■一般預託

松井 宣子 様 (東かがわ市)

温かい善意に厚く感謝申し上げます。ご寄付は有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

鳴門市老人クラブ連合会からのお知らせ

鳴門市老人クラブ連合会の11月からの行事は次のとおりです。

- 11月 6日(金) 市老連ウォークラリー
- 11月13日(金) 市社協グラウンド・ゴルフ大会
- 11月17日(火) 友愛訪問員研修会
- 12月 9日(水) 市老連若手委員研修会
- 12月15日(火) 市老連芸能発表会
- 2月 9日(火)・10日(水)
平成27年度うずしお美術展
- 2月23日(火) 介護予防普及研修会
- 2月29日(月) 市老連囲碁ボール大会

お問い合わせは事務局まで (☎ 685-7170)

良縁サポートセンター ハッピーなると

良縁を求める方々を対象に結婚相談を実施しています。また、年1~2回婚活イベントも実施しています。会員登録・相談員の募集も随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。相談・登録料は無料です。★秘密は厳守します！

- 日 時:毎月第4火曜日 13時30分~15時30分
- 場 所:鳴門市勤労青少年ホーム1階

※お問い合わせは、
鳴門市社会福祉協議会 (☎ 685-7170) まで。

「もの忘れ」に関する無料相談窓口

- 日 時:毎月第4水曜日 14時~16時
(祝日の場合は変更あり)
- 場 所:鳴門市役所本庁1階 市民相談室
- 相談員:認知症サポート医(3・6・9・12月)、認知症の人と家族の会相談員(上記以外の月)
- ご自身やご家族のもの忘れが気になる方、認知症の方などを介護されている方。(基本予約制)

★秘密は厳守します！

※お問い合わせは、鳴門市基幹型地域包括支援センター (☎ 615-1417) まで。

ご家族を介護されている方、介護をして不安や悩みがある方へ私たちがご相談にのります。

相談料 無料

「鳴門市介護者家族の会」
鳴門市民生委員児童委員協議会有志

こんなこと言っても
仕方がないことと思っていること、
一緒にいるとイライラすると思うこと、
はずかしいことになってしまうこと...などなど
ひとりでは抱え込んでいませんか? そんな時、介護の経験がある人などに聞いてもらおうと、気持ちの整理がつかませんか?
どんな小さなことでも、お話を聴きます。

お気軽にお越しください。
※こちらからの訪問も可能です。
※時間などはご相談に応じます。

日 時 毎月第2・4火曜日
午前10時~午後3時

場 所 鳴門市ボランティアセンター(鳴門市老人福祉センター1階)

お問い合わせ先 鳴門市社会福祉協議会 ☎615-1417
(基幹型地域包括支援センター)
鳴門市長寿介護課 ☎684-1175